

1 特定施設の構造

イ. 特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置

名 称	型 式	構 造	主 要 寸 法	能 力	備 考
<b>66 電気めつき施設</b>		<b>鉄製ゴム内張</b>		<b>1,500個/時間</b>	
①脱脂槽	浸漬式	鉄製ゴム内張	L 2,000× W 1,000× H 1,200	有効容量 2m <sup>3</sup>	1槽
②電解脱脂槽	〃	〃	2,000× 1,000× 1,200	2m <sup>3</sup>	1〃
③水洗槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	10〃
④酸洗槽	〃	〃	2,000× 1,000× 1,200	2m <sup>3</sup>	1〃
⑤中和槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃
⑥亜鉛めつき槽	〃	〃	7,450× 2,000× 1,200	14.9m <sup>3</sup>	1〃
⑦回収槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃
⑧硝酸槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃
⑨ユニクローム槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃
⑩クロメート槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃
⑪湯洗槽	〃	〃	1,000× 1,000× 1,200	1m <sup>3</sup>	1〃

（配置は、添付第 1 図のとおり。）

記入上の注意

(1) 「特定施設の型式、構造、主要寸法及び能力並びに当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置」

① 「名 称」

特定施設の番号及び名称（水質汚濁防止法施行令別表第 1 に係る特定施設一覧参照）並びに当該特定施設を構成する各種装置を記入して下さい。

② 「型 式」・「構 造」・「主要寸法」

特定施設を構成する各種装置別に記入して下さい。

③ 「能 力」

主な製品名、大きさ並びに単位時間当たりに製造又は加工等ができる数量を記入して下さい。

④ 「備 考」

特定施設及び各種装置の数その他必要な事項を記入して下さい。

※ 事業場内の特定施設の配置図を添付図-1として添付して下さい。

ロ. 特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日	平成25年	6月	1日
工事完成予定年月日	" 25年	6月	31日
使用開始予定年月日	" 25年	7月	1日

ハ. その他参考事項

業種	金属製品製造業（電気めつき業）
操業開始年月日	昭和40年 10月 1日
公共下水道使用開始年月日	昭和55年 4月 1日

## 記入上の注意

- (2) 「特定施設に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに特定施設の使用開始の予定年月日」  
「年月日」は、特定施設の設置又は特定施設の構造等変更の場合に記入して下さい。
- (3) 「その他参考事項」  
「業種」は、日本標準産業分類による中分類に該当する業種を記入して下さい。

## 2 特定施設の使用方法

- イ. 特定施設の設置場所(添付第 2 図のとおり。)  
 ロ. 特定施設を含む操業の系統(添付第 1 表のとおり。)  
 ハ. 特定施設の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

名 称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備 考
66 電気めつき施設	午前8:00~午後12:00 午後1:00~午後5:00	8時間	7月~9月(夏季)少ない。 3月~5月(春季)多い。	

## 記入上の注意

- (1) 「特定施設の設置場所」  
 添付図-2で事業場全体図(平面図)に特定施設・処理を要する排水に関わる施設の設置場所及び事業場汚水と用水の系統を色分けして記入して下さい。  
 また、汚水及び用水の系統には下水に関連する排水口の位置及び番号又は名称を記入して下さい。
- (2) 「特定施設を含む操業の系統」  
 添付表-1に特定施設を含めた原料から製品迄の作業工程(フローシート)を記入して下さい。  
 その場合汚水、用水及び給水の個所を明記して下さい。
- (3) 「特定施設の使用時間間隔及び1日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」
- ① 「名 称」  
 特定施設の番号及び名称を記入して下さい。
  - ② 「使用時間間隔」  
 通常に特定施設を使う時間帯を記入して下さい。
  - ③ 「1日当りの使用時間」  
 1日当りに特定施設を使う延べ時間を記入して下さい。
  - ④ 「季節変動の概要」  
 週間、月間、年間等で大きな変動がある場合に記入して下さい。
  - ⑤ 「備考」  
 変更届の際は、何が変更になったのかを記入して下さい。

ニ. 特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む。）の種類、使用方法及び1日当たりの使用量

名 称	使用原材料の種類	使 用 方 法	1日当たりの使用量	備 考
66 電気めつき施設	塩 酸 エースクリーン D 青化ソーダ . .	20% 水溶液として酸洗用 20g/L " 脱脂用 10g/L " 亜鉛めつき用 . .	10kg 5kg 10kg . .	〇〇(株)製 □□(株)製 SDS別途添付 △△(株)製、有害物質に該当 . .

(参考) 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水を回収委託処理する際の概要

汚 水 の 種 類	汚水量 ( m <sup>3</sup> / 日 )	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考
めつき濃厚廃水	2 (m <sup>3</sup> /月)	ポリタンクに入れた自社内に保管後、産業廃棄物処理業者に委託処分 収集運搬業者：(株)産廃 処分業者：(株)産廃センター	産業廃棄物処理委託 契約書(写) 別紙のとおり

#### 記 入 上 の 注 意

(4) 「特定施設を含む作業工程において使用する原材料（消耗資材を含む）の種類、使用方法及び1日当たり使用量」

- ① 「名 称」  
特定施設の番号及び名称を記入して下さい。
- ② 「使用原材料の種類」  
特定施設において使用する原材料を種類別に記入して下さい。製品名を記入する場合はSDS(Safety Data sheet 安全データシート)等の成分表を添付して下さい。
- ③ 「使用方法」  
②で列挙した原料別はその使用濃度及び用途を記入して下さい。複数の用途があるものについては用途毎に記入して下さい。
- ④ 「1日当たりの使用量」  
原料別に1日当たりの平均使用量を記入して下さい。
- ⑤ 「備 考」  
成分、交換の頻度、有害物質に該当するかどうか等参考事項を記入して下さい。

(5) 「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水を回収委託処理する際の概要」

- ① 「汚水の種類」  
特定施設から排出され、回収委託処理する汚水を種類毎に記入して下さい。
- ② 「汚水量」  
回収委託処理する汚水量を種類毎に記入して下さい。
- ③ 「処理の方法の概要」  
回収委託処理する汚水の種類毎に、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入して下さい。また産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付して下さい。

ホ. 特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質及び水量

特定施設名	汚水量 (m <sup>3</sup> /日)		水 質																			
	通常	最大	pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)				窒素 (mg/L)		リン (mg/L)		よろ素濃度 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)	
			通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
66 電気めつき施設 シアン系 クロム系 酸・アルカリ系	5	7	10.5	11.5																		
	2	3	3.0	2.5																		
	2	3	4.5	3.0																		

水 質																									
亜鉛 (mg/L)		溶剤鉄 (mg/L)		溶剤性ガン (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
100	200					30	50									100	150					30	50		
20	30																								
10	20																								

水 質																									
水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ジクロロメタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロロエタン (mg/L)		1,1-ジクロロエタン (mg/L)		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		1,3-ジクロロベンゼン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

水 質																									
チウラム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオベンカルブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふっ素 (mg/L)		1,4-ジオキサン (mg/L)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)									
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

へ. その他の参考事項

### 記入上の注意

(6) 「特定施設の使用時において、当該特定施設から排出される汚水の水質及び水量」

① 「特定施設名」

特定施設の番号及び名称を記入して下さい。(汚水を系統的に区分して記入して下さい。)

② 「汚水量」

特定施設からの汚水量を記入して下さい。

③ 「水質」

作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値を記入して下さい。

### 3 汚水の処理の方法

イ. 汚水の処理施設（除害施設）の設置場所（添付第 2 図のとおり。）

ロ. 汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用の開始の予定年月日

工事着手予定年月日 **平成 25 年 6 月 1 日**  
 工事完成予定年月日 **平成 25 年 6 月 31 日**  
 使用開始予定年月日 **平成 25 年 7 月 1 日**

ハ. 汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

種類	型式	構造	主要寸法	能力 (m <sup>3</sup> /日)	処理の方法	備考
めっき廃水処理施設	自動連続式	鉄筋コンクリート		10時間/日		詳細は別紙仕様書のとおり。
A シアン系原水貯槽		耐酸仕上	1800×1800×2000	5m <sup>3</sup>	酸化分解	
B シアン系1次反応槽		鉄製塩ビ張	1000×1000×1300	1m <sup>3</sup>		
D シアン系2次反応槽			1300×1300×1600	2m <sup>3</sup>		
F クロム系原水槽			1500×1500×1500	2m <sup>3</sup>	還元	
G クロム系還元槽			800×800×1000	0.5m <sup>3</sup>		
H 酸7ルリ系原水貯槽			1600×1600×2000	4m <sup>3</sup>	中和 薬品沈殿ろ過	
I pH調整槽			1000×1000×1200	1m <sup>3</sup>		
J 沈殿槽			2000×2000×3000	9m <sup>3</sup>		

(配置は、添付第 3 図のとおり。)

#### 記入上の注意

- (1) 「汚水の処理施設（除害施設）の設置場所」  
添付図-2 に記入して下さい。
- (2) 「汚水の処理施設（除害施設）に係る工事の着手及び完成の予定年月日並びに使用の開始の予定の予定年月日」  
除害施設の新設又は構造等の変更の場合に記入して下さい。
- (3) 「汚水の処理施設（除害施設）の種類、型式、構造、主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方法」
  - ① 「種類」  
除害施設の名称は処理対象汚水、処理機能などから判断し記入して下さい。
  - ② 「型式」・「構造」・「主要寸法」  
除害施設を構成する各種装置別に記入して下さい。
  - ③ 「能力」  
設計上の能力1日（稼働時間）当りの数値を記入して下さい。また、槽などは有効容量を記入して下さい。
  - ④ 「処理の方法」  
汚水の種類毎に方法名を記入して下さい。

ニ. 汚水の処理の系統（添付第 4 図のとおり。）

シアン系汚水及びクロム系汚水は別々に処理し、酸・アルカリ系汚水とともに凝集沈殿後、上澄水はろ過・中和して排除する。  
沈殿槽の汚泥は脱水機（フィルタープレス）にて処理後、業者委託処分とする。

ホ. 汚水の集水及び汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法（添付第 1、2 図のとおり。）

クロム・シアン及び酸・アルカリ系汚水はそれぞれ塩ビ管により導水する。

特定施設等からオーバーフローした床面汚水はU字溝及び角マスに集水し塩ビ管で導水する。

床面は耐水耐食加工し、地下浸透を防止すると共に、防液堤を設けて系統分離する。

## 記入上の注意

(4) 「汚水の処理の系統」

処理の概要を記入し、添付図-4 に処理系統を記入して下さい。

(5) 「汚水の集水および汚水の処理施設（除害施設）までの導水の方法」

汚水の集水及び導水の概要を記入し、添付図-2 に系統別に色分けして下さい。

へ. 汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当たり使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設（除害施設）の名称	使用時間間隔	1日当たりの使用時間	季節的変動の概要	備考
めっき廃水処理施設	8:00~18:00	10時間	7月~9月（夏季）少ない。 3月~5月（春季）多い。	週4日稼働

ト. 汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量

処理施設（除害施設）の名称	消耗資材名	用途別	1日当たり使用量	備考
めっき廃水処理施設	次亜塩素酸ソーダ 重亜硫酸ソーダ カセイソーダ 消石灰 硫酸 有機高分子凝集剤 (アコーフロック 302)	シアン分解用 クロム還元用 PH調整用 " " 凝集用	10kg 5" 2" 2" 5" 10ℓ	使用濃度 5% 使用濃度 10% 使用濃度 5% 使用濃度 10% 使用濃度 5% 〇〇〇〇（株）製

## 記入上の注意

(6) 「汚水の処理施設（除害施設）の使用時間間隔及び1日当たりの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」

① 「処理施設（除害施設）の名称」

名称は3汚水の処理の方法への種類と同じ名称を記入して下さい。

② 「使用時間間隔」

除害施設の稼働時間帯を記入して下さい。間欠式運転の場合はそれぞれの時間帯を記入して下さい。

③ 「1日当たりの使用時間」

1日当たりの除害施設の延べ運転時間を記入して下さい。

④ 「備考」

稼働日数を記入して下さい。

(7) 「汚水の処理施設（除害施設）において使用する消耗資材の1日当たりの用途別使用量」

① 「消耗資材名」

除害施設の稼働に必要な薬品等を記入して下さい。この場合、電気、上水、ガスは記入しないで下さい。

② 「用途別」

消耗資材別に用途を記入して下さい。1つの資材で複数の用途のあるものについてはそれぞれ記入して下さい。

③ 「1日当たり使用量」

消耗資材別の量を記入しますが、薬品の場合は、その濃度を記入してください。

④ 「備考」

消耗資材のメーカー及び薬品の使用濃度を記入して下さい。



チ. 汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量

水量・水質 処理施設名 (除害施設名)	汚水量 (m <sup>3</sup> /日)		処 理 前 水 質																			
			p H		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)		窒素 (mg/L)		磷 (mg/L)		よう素濃量 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)			
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
66 電気めつき施設	5	7	10.5	11.5																		
シアン系	2	3	3.0	2.5																		
クロム系	2	3	4.5	3.0																		
酸・アルカリ系																						

処 理 前 水 質																									
亜鉛 (mg/L)		溶溶性鉄 (mg/L)		溶溶性ガン (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
100	200					30	50									100	150					30	50		
20	30																								
10	20																								

処 理 前 水 質																									
水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化ビフェ ル(mg/L)		トリクロロエチ レン(mg/L)		テトラクロロチ レン(mg/L)		ジクロロメタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1, 2-ジクロロエタン (mg/L)		1, 1-ジクロロチ ン(mg/L)		シス-1, 2-ジクロロエ ン(mg/L)		1, 1, 1-トリクロロエ タ(mg/L)		1, 1, 2-トリクロロエ タ(mg/L)		1, 3-ジクロロプロ ン(mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処 理 前 水 質																									
チウラム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオベンカルブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふつ素 (mg/L)		1, 4-ジオキサン (mg/L)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)									
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

記入上の注意

(8) 「汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量」

① 「汚水量」

除害施設での処理系統が複数である場合は、その系統毎に汚水量を記入して下さい。（この汚水量は除害施設の処理前後の水量のことであり、特定施設からの汚水量とは一致しない場合があります。）

② 「処理前水質」

作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入して下さい。

③ 「処理後水質」

②と同様に記入して下さい。



リ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残さの種類	生成量 ( t / 月 )	処理の方法の概要	備考
脱水汚泥 (金属水酸化物)	4 (含水率 80%)	フィルタープレスで脱水した汚泥はポリ袋に詰めて自社内保管後、 産業廃棄物処理業者に委託処分 収集運搬業者：(株)産 廃 処 分 業 者：(株)産廃センター	産業廃棄物処理委託 契約書(写) 別添のとおり。

ヌ. 汚水を公共下水道へ排除する方法 (排出口の位置及び数並びに排出先を含む。)  
(添付第 2 図のとおり。)

ル. その他参考事項

除害施設建設費 2,000 万円      内訳 自己資金 1,000 万円  
公害防止資金 1,000 万円 (川崎市公害防止資金による)

## 記入上の注意

(9) 「汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要」

① 「残さの種類」

除害施設から生ずる各種廃棄物を記入して下さい。この廃棄物は通常汚泥ですが、その他に廃油、廃酸、廃アルカリなどがありますので残さの種類毎に分けて記入して下さい。

② 「生成量」

残さの種類毎に生成量を記入して下さい。(除害施設的设计上の能力から判断し、推定量を記入することもできます。)

なお、量には必ず水分、油分などの割合をあわせて記入して下さい。

③ 「処理方法の概要」

残さの種類毎に、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入して下さい。また、産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付して下さい。

(10) 「その他参考事項」

除害施設の建設費及び調達資金の内訳を記入して下さい。

## 4 下水の量及び水質

イ. 公共下水道への排出口における水量及び水質

水量・水質 処理施設名 (除害施設名)	汚水量 (m <sup>3</sup> /日)		水 質																			
			pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		ノルマルヘキサン 抽出物質(mg/L)				窒素 (mg/L)		磷 (mg/L)		よう素濃度 (mg/L)		フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)	
	鉍油類								動物油類													
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
<b>No.1 (工程系)</b>	<b>9</b>	<b>13</b>	<b>7</b>	<b>5.8 ~ 8.6</b>																		
<b>No.2 (生活系)</b>	<b>1</b>	<b>1.5</b>																				

水 質																									
亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性カドミウム (mg/L)		クロム (mg/L)		ニッケル (mg/L)		(mg/L)		(mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)		鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
<b>0.1</b>	<b>&lt;1.0</b>					<b>0.5</b>	<b>&lt;2.0</b>									<b>0.2</b>	<b>&lt;1.0</b>					<b>0.05</b>	<b>&lt;0.5</b>		

水 質																									
水銀 (mg/L)		メチル水銀 (mg/L)		ホルミ塩化ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ジクロロメタン (mg/L)		四塩化炭素 (mg/L)		1,2-ジクロロエタン (mg/L)		1,1-ジクロロエタン (mg/L)		シス-1,2-ジクロロエチレン (mg/L)		1,1,1-トリクロロエタン (mg/L)		1,1,2-トリクロロエタン (mg/L)		1,3-ジクロロベンゼン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

水 質																									
チウラム (mg/L)		シマジン (mg/L)		チオベンカルブ (mg/L)		ベンゼン (mg/L)		セレン (mg/L)		ほう素 (mg/L)		ふっ素 (mg/L)		1,4-ジオキサン (mg/L)		ダイオキシン類 (pg-TEQ/L)									
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

ロ. その他の参考事項

### 記入上の注意

(1) 「公共下水道への排出口における水量及び水質」

① 「排水口別」

排水口は原則として工程系下水と生活系下水に分けて記入して下さい。

② 「下水量」

各々の排水口での量であり、同じ排水口に工程系下水と生活系下水が混合する場合、区分して記入して下さい。

③ 「水質」

排水口毎の水質を記入して下さい。(工程系の下水の場合、除害施設の出口の水質と一致しないことがあります。)

## 5 用 水 及 び 排 水 の 系 統

イ. 用水及び排水の系統（添付第 2 図のとおり。）

用排水のバランスシートは、添付第 2 表のとおり。

ロ. 用途別用水使用量（単位 $m^3$ ／日）

水 源 別 用 水 量							
総 使 用 量	公 共 用 水 道		そ の 他				海 水
	工 業 用 水 道	上 水 道	地 表 水	伏 流 水	井 戸 水	そ の 他	
10		10					

用 途 別 用 水 量					
ボ イ ラ ー 用 水	原 料 用 水	製 品 処 理 用 水 及 び 洗 浄 用 水	冷 却 用 水	温 調 用 水	そ の 他
		9			1

### 記 入 上 の 注 意

(1) 「用水及び排水の系統」

添付図-2 に用水系と汚水系を色分けし、公共下水道へ接続する排出口の位置等を明示し記入して下さい。

(2) 「用途別用水使用量（単位 $m^3$ ／日）」

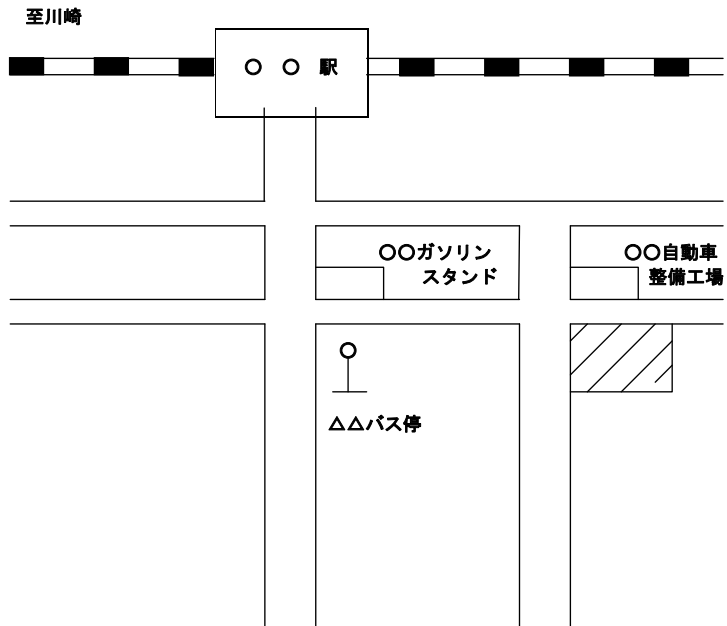
水源別及び用途別水量を各々について通常（日平均）と認められる量を記入して下さい。

別紙(6)

参考事項

資本金	500万円	従業員数	5(8)人
主要製品	自動車部品(めっき製品)	作業時間	午前8時～午後5時
敷地面積	350 m <sup>2</sup>	建物面積	215 m <sup>2</sup>
担当部係 電話	技術係 200-2112	担当者	川崎 四郎

付近見取図(案内図)



### 記入上の注意

- (1) 「従業員数」  
届出の対象となっている事業場の従業員数を記入し、本社等がある場合は全従業員数を( )内に記入して下さい。
- (2) 「付近見取図(案内図)」  
事業場の付近の道路、目印となるもの、及び鉄道等をわかりやすく記入して下さい。

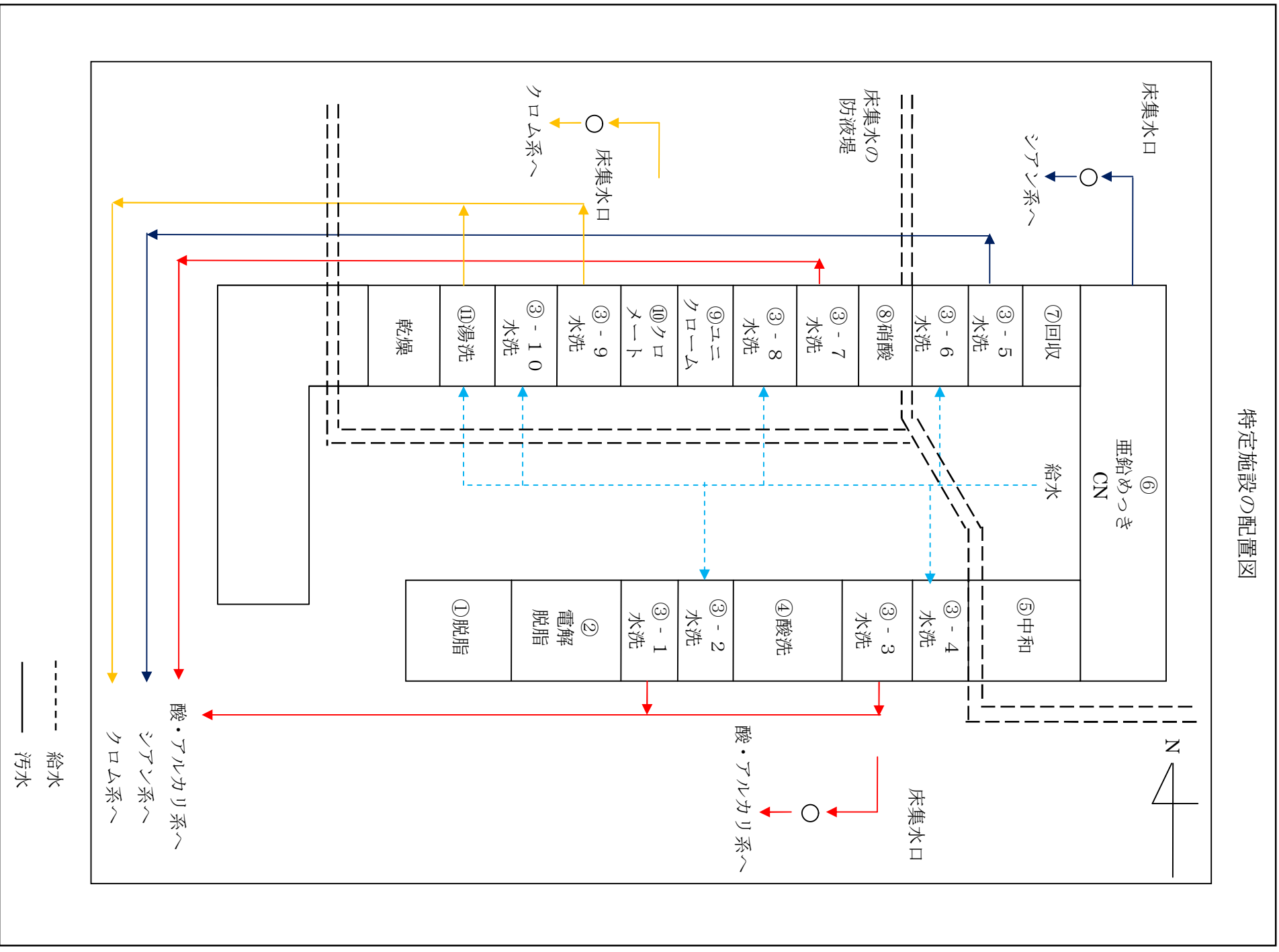
## 届出別紙の添付書類一覧

届出別紙に必要な添付書類は、以下のとおりです。  
なお、添付書類は、次の記入例を参考にして下さい。

- 特定施設の配置図 (添付図－１の記入例参照)
- 事業場の平面図 (添付図－２の記入例参照)
- 汚水の処理施設配置図 (添付図－３の記入例参照)
- 汚水の処理工程図 (添付図－４の記入例参照)
- 特定施設を含む操業の系統 (添付表－１の記入例参照)
- 用排水のバランスシート (添付表－２の記入例参照)

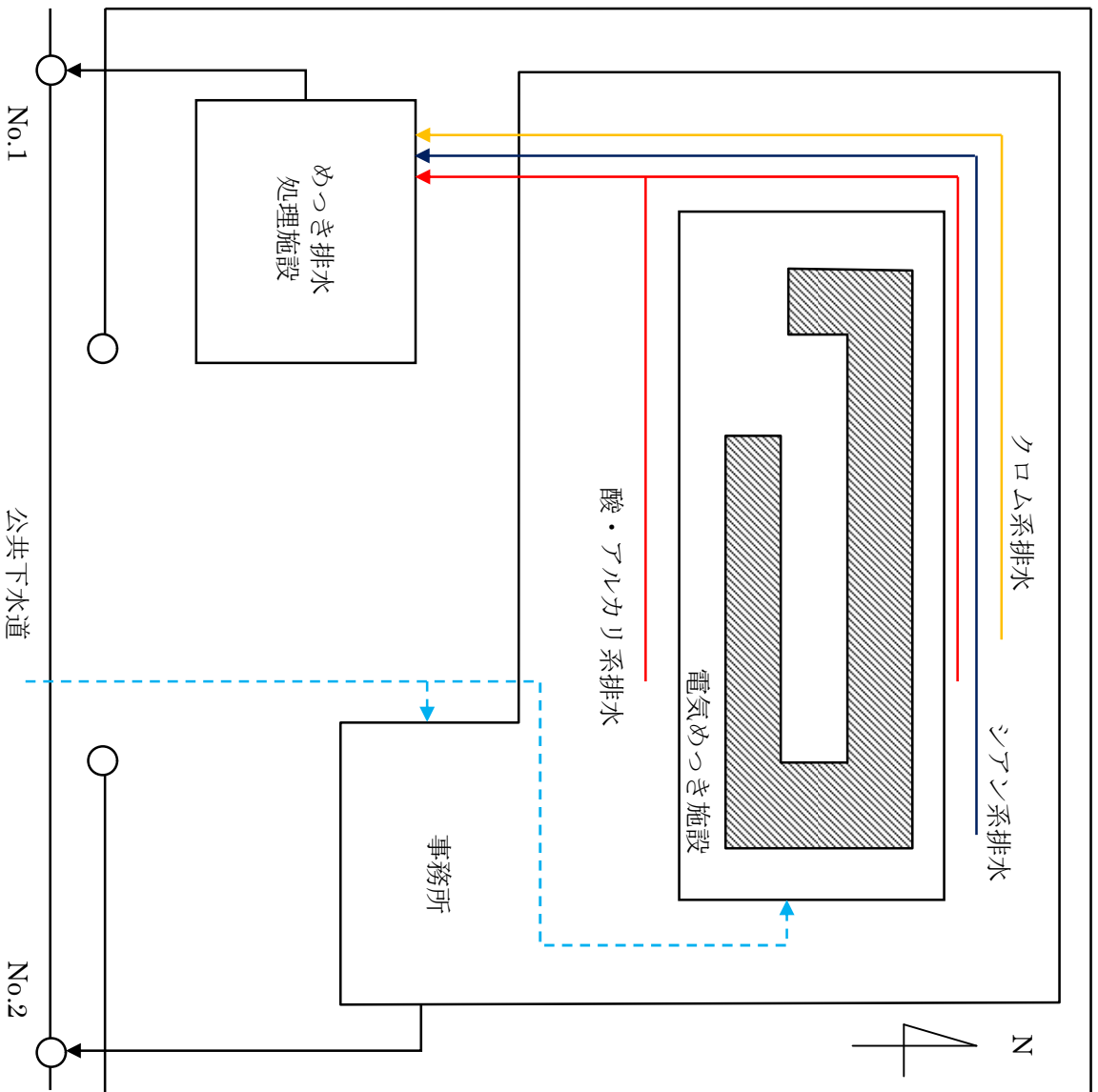
その他、「産業廃棄物処理契約書の写し」、「ＳＤＳ等の成分表」等が必要な場合は、添付して下さい。また、届出別紙の記入欄に記入しきれない場合は、図表やカタログ等の添付で対応して下さい。

添付図一 特定施設の配置図の例





事業場の平面図

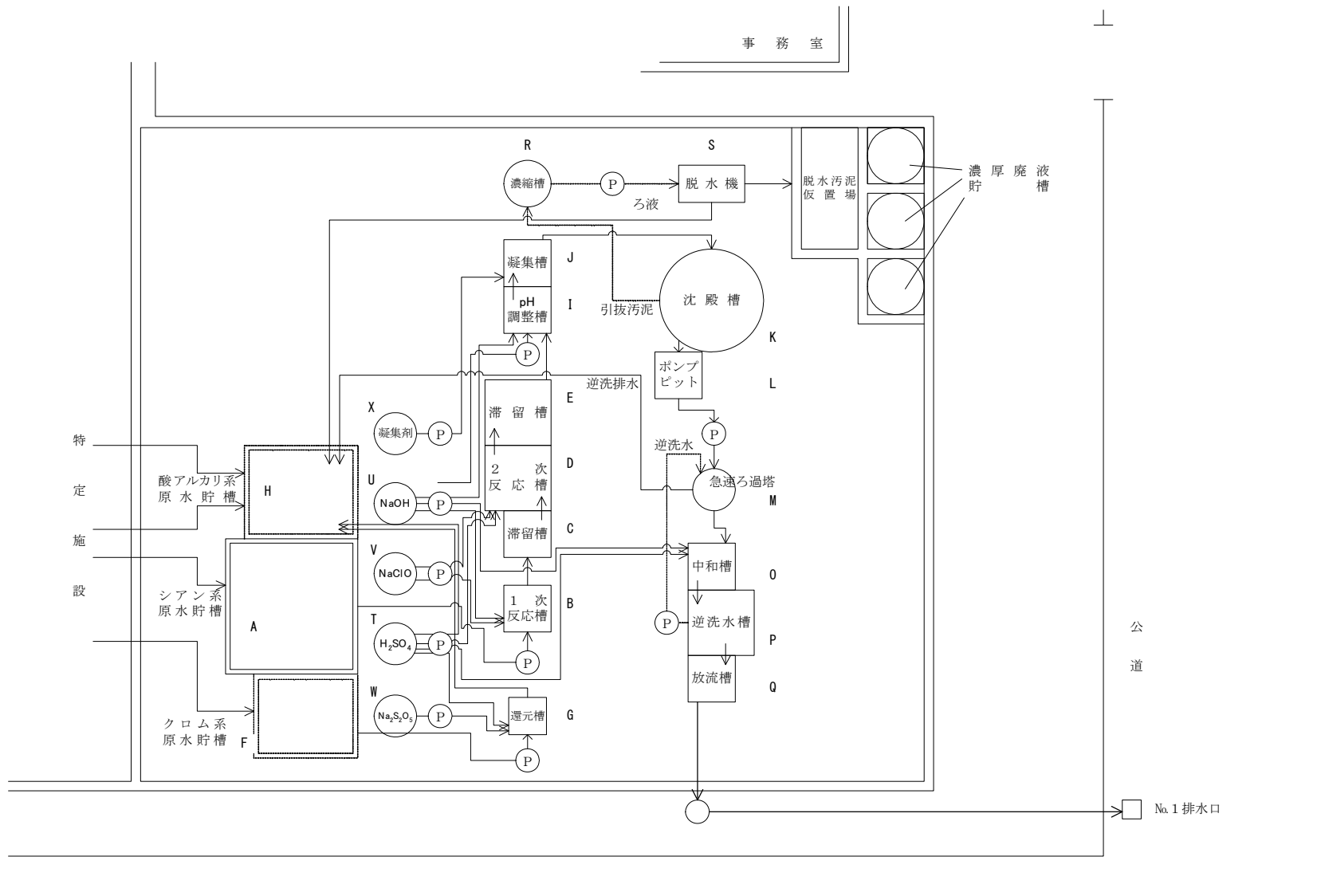


注.1 この図面には特定施設、除害施設の位置及び排水口の位置並びに給水・汚水の系統を記入し、給水・汚水の系統についてはその名称と色分けを行ってください。

----- 給水  
 \_\_\_\_\_ 汚水

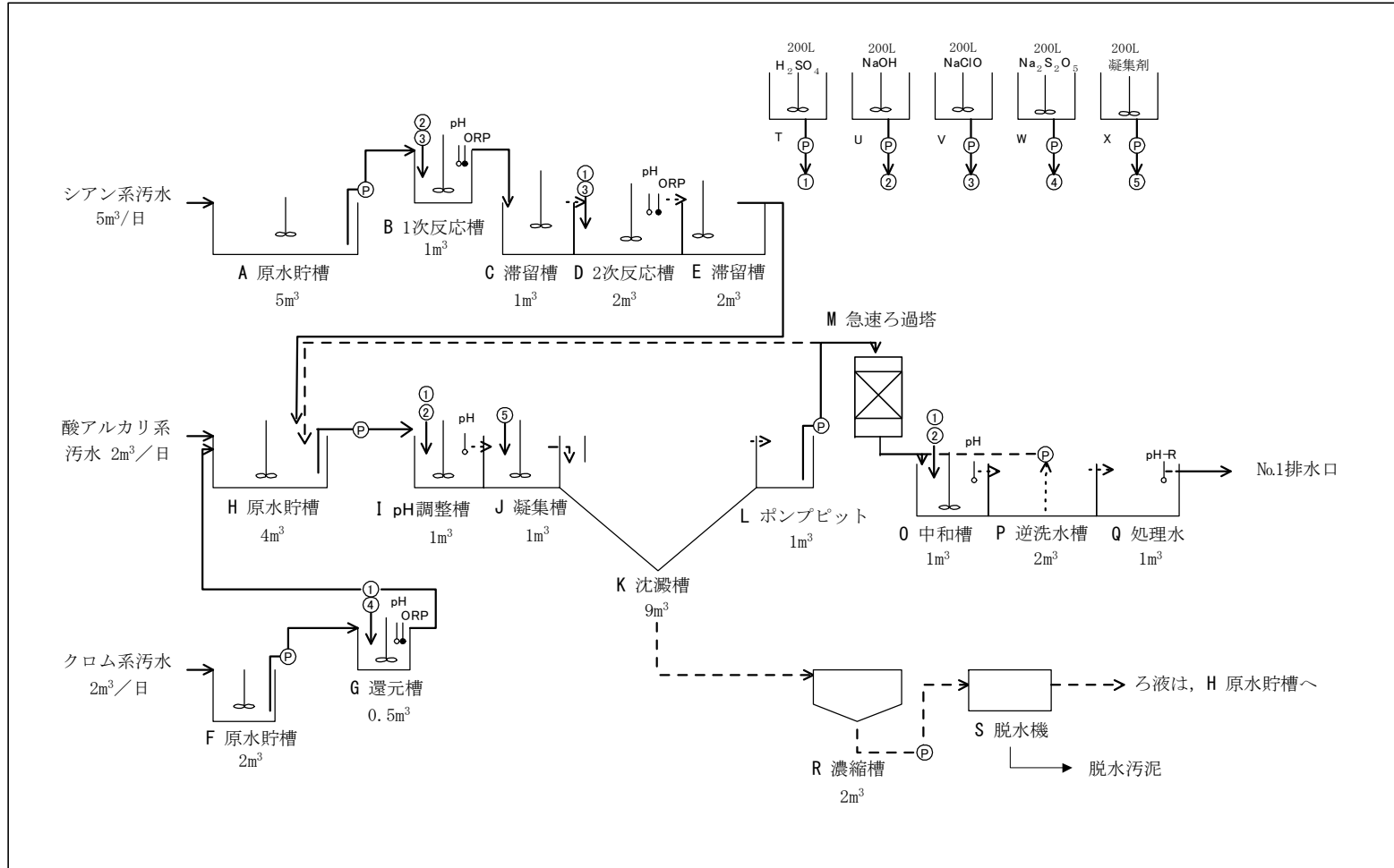
添付図－3 汚水の処理施設配置図の例

汚水の処理施設配置図（めっき排水処理平面図）



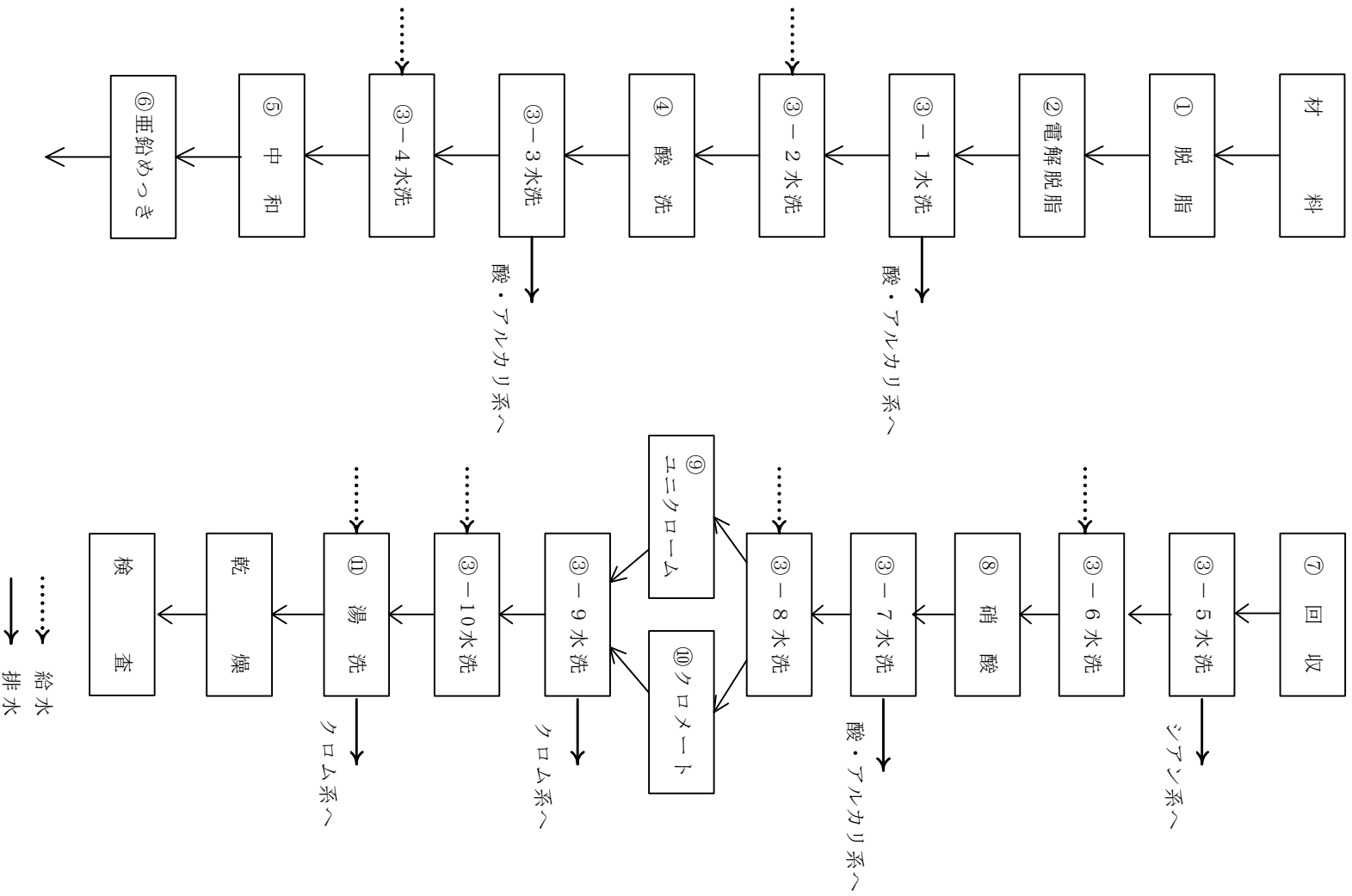
添付図-4 汚水の処理工程図の例

汚水の処理工程図 (めっき排水処理フロー)



添付表一1 特定施設を含む操作の系統の例

特定施設を含む操作の系統



添付表ー2 用排水のバランスシートの例

用排水のバランスシート

(単位  $\text{m}^3/\text{日}$ )

